良導絡治療の虚血性心疾患 に於ける作用機序について

今 井 力
大 儀 泰 啓

Mechanism of Ryodoraku therapy in ischemical heart disease.

Tsutomu Imai

Taikei Oiso

39 cases ischemical heart diseases are treated by Ryodoraku therapy. Selection of points and method as follows :

- ① F₄48, F₄50 both sides only needle pricking 15 minutes
- ② F₄48, F₄50 both sides sparrow pecking by electric acupuncture (10~70 times)
- ③ F₄46, F₄48, F₄50 both sides only needle pricking 15 minutes.
- ④ H₂6 both sides low frequency therapy 15 minutes

The results are as follows : E.C.G short time response positive are 22 cases in 39 cases —56%, 94 times in 183 cases —51%

We have the impression, that electrical methods have better effect than only needle pricking.

I suppose, that these method will improve the coronary circulation through β receptor and will have same function with nitral.

昨年度第1報において報告した狭心症共同研究用カルテ (Slide 1) にもとづいて集計した症例50例の中心不全を合併しているもの、40才代以前の若年者、或いは病歴の不備のもの等をのぞいた39例の虚血性心疾患を対象としてその作用機序について考察した。(Slide 2) 被検者は40才代5、50才代13、60才代10、70才代11計39例で5名の健常者を加えた。尚合併症として心筋硬塞4、高血圧35、糖尿病1、であった。

(Slide 3) 15分間 F₄48、F₄50の置針の短時間の反応は既に報告した如く深いS-T降下が基線にもどるもの、RとTベクトルが全く逆方向にむいているものが正常に近くなるもの、Q S型でS-T上昇が基線に近づくもの、junctional S-T↓がSがなくなりS-Tが基線にもどりR・T波が大きくなる。又全体が大きく

なるものもあるがこれは安静に寝かせておくだけで循環状態がよくなり起る反応でもある。ベクトルECGでは最大Tベクトルの方向が正常に近づいたり、なだらかなQRS終末をえがく様になったり、或はTベクトルが大きくなったりする。(Slide 4) そこで①S-Tが1mm以上の上昇又は下降を示すものが基線にもどる。ただし肥大型S-T、TのStrain patternは除外する。②TがV₅に於てR波にくらべ平低或は陰性のものが明瞭な陽性となる場合の2つを判定規準とし、期外収縮の消失、U・C・G上左房経の縮小を参考所見とした。39例中陽性22例56%、各症例とも平均5回以上で183回の中陽性94回51%。(Slide 5) 取穴の部位及刺激方法について。①F₄48、F₄50、15分間の置針のみ133回中陽性62、46%②F₄48、F₄50、E

A P 雀啄 (10~70回) 5 回中陽性 3 回60%③ F₄₄₆、F₄₄₈、F₄₅₀、15分間置針のみ6回 中陽性 6 回100%。④ H₂₆低周波通電13回中10回 陽性77%で①以外は症例が少ないが電気を用いた方が置針のみより効果がある印象をうけた。尚取穴の部位、例えば F₆₉—F₆₉或は F₆₉—F₅₁₄、H₁—H₁等の低周波通電は陰性で心、心包経及びその俞穴は刺激効果があり。膈中一巨闕の低周波通電ではさしたる反応がなく、これらが募穴であることは興味深い。(Slide 6) 狭心痛に対しては直接効果 13例中⑨ 例、② 例、1 カ月以上の経過観察例で狭心痛の回数が少なくなったもの、ニトロールの使用が減ったもの13例中⑩ 11例、② 例である。他のどうき、いきざれ、胸腔内圧迫感等に対しては17例中⑧ 例、⑥ 例である。更に数年間にわたる長期観察は今後の問題と考えている。次に個々の症例について述べる。

(Slide 7) 60才女子一寸運動させるとすぐ期外収縮が頻発したりする冠不全、F₄₄₈、F₄₅₀、E A P 20回の雀啄直後に期外収縮が消失した。週 2 回ずつ10回施行後、ほとんど期外収縮が出なくなった。(Slide 8) 58才男子冠不全 4 つに 1 つ位の期外収縮があったが、E A P 雀啄10回ずつ F₄₄₈、F₄₅₀に行ったが10分位で期外収縮がすつとなくなった。(Slide 9、10、11) 67才男子20年前心筋硬塞で入院したことのある症例で H₂、H₃が興で E C G 第 1 誘導で S—T junctional 降下が E A P、F₄₄₈、F₄₅₀、70回雀啄後20分で S がなくなり S—T も基線にもどっている。又 V₁P 陰性 (左房負荷) がなくなり正常になり、脈搏数が減少している。(Slide 12) 60才 ♂ 高血圧 F₄₄₈、F₄₅₀低周波通電後左房経の縮少がみられ、左房の負荷がある例はその負荷がとれたと考えると興味深い。(Slide 13) H₂₆低周波通電の方法を模式的に示す。(Slide 14) 58才 ♂ 高血圧の症例であるが H₂₆低周波15分通電により脈搏やや減少し頸動脈波は大きくなり E C G R 波の増高がみられる。(Slide 16) 良導絡チャートは刺激後 H₂H₃が著明に大きくなり H₅が深くなっている。(Slide 16)

58才 ♀ 冠不全期外収縮が出て気持ちがわるいと訴えていたが H₂₆、3 回目の通電で全く消失した。(Slide 17) 56才 ♂ 1 : 1、2 : 2、3 : 1 の心室性期外収縮があったが H₂₆、15分低周波刺激により 3 回目に消失している。(Slide 18) 64才 ♀ 胸痛とどうきを訴えてきた例であるが H₂₆置針後10分にしておさまり、低周波通電15分にして S—T も基線にもどっている。以上の例はいずれも虚血によるか、自律神経過緊張によるもので治療により改善されたと考える。

ひるがえってその作用機序について考察してみる。(Slide 19A) 68才 ♀ F₄₄₈、F₄₅₀の E A P 雀啄で (20回ずつ) T 波が著明となるがこの症例に (Slide 19B) ニトロール 1 錠をふくませると同じ様に T 波が著明となる。(Slide 20) 48才 ♂ 冠不全、トレッドミルにより運動負荷 (Bruce I) させると S—T 降下がすぐあらわれるが、H₂₆低周波通電後或いは F₄₄₈、F₄₅₀置針のまま運動負荷させると、S—T の降下度が少く、自覚的にも楽であることをみ出した。つまりニトロール様作用を有していると推定せられるが冠動脈造影により確める他はないと考える。(Slide 21) 58才 ♀ 冠不全の症例でアダラート 30mg 投与中 7 カ月の間に 9 回中 9 回とも F₄₄₈、F₄₅₀置針に陽性であるが、インデラル 60mg 5 カ月間に17回中16回は陰性であった。即ち β ブロッカー投与中は F₄₄₈、F₄₅₀の置針に S—T 低下は反応していないことになる。交感神経の刺激を受ける部位には α 、 β の 2 つの種類があり、イソプロテレノールに親和性の強いのが β 受容体で、アドレナリンの親和性が強いのが α 受容体で、心臓と気管支筋には β 受容体が分布していると考えられている。つまり β 受容体があって始めて置針の効果がある。従って針治療は β ブロッカー投与時には少くとも心臓に対しては効果がないと考えざるを得ない。以上の事から心、心包経及びその俞穴の良導絡治療は先ず交感神経を介し、 β 受容体を刺激或いは制御し、ついで複雑なメカニズムによりニトロール様作用をあらわし冠血行を改善するであろうと推定せられる。

(1)

狭心症共同研究用カルテ（虚血性心疾患用）

氏名		病名		T.M. () ()		は検査するものに おけるべきでない	
患者氏名		姓	名	姓	名		
1 生歴		経歴		発症時、発症地、経過時間			
		発症原因		経過	1 月	1 月	
		既往症	アレルギー	どうも	いさぎ	深淵	
2 検査		金部	金部	心臓	心臓	心臓	
		腎臓	腎臓	肝臓	肝臓	肝臓	
		腎臓	腎臓	心臓	心臓	心臓	
		腎臓	腎臓	心臓	心臓	心臓	
3 治療		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
4 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
5 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
6 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
7 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
8 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
9 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
10 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
11 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
12 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
13 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
14 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
15 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
16 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
17 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
18 検査		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬	薬	薬	
		薬	薬	薬			

(2)

An object of experiment

- ① ischaemic heart disease 39 cases

(1) age	40~49j	5
	50~59j	13
	60~69j	10
	70~79j	11

total	39
-------	----

- (□) **complicative diseases**

myocardial infarction	4
hypertension	35
diabetes mellitus	1

- ② normal person

age	20~29j	1
	30~39j	1
	40~49j	2
	70~79j	1

total	5
-------	---

(3)

change pattern by S-K pricking

ECG change pattern 2

VCG change pattern

(4)

Short time response positiv

39 cases	(+) 22 cases	56%
183 times	(+) 94 times	51%

diagnostic basis in ECG

- ① S-T depression or elevation over 1 mV in V_5
→ normal
except secondary S-T, T change of hypertrophy
- ② T flatt or T negativ in V_5
→ clearly positiv
- ③ disappear of extrasystoly
- ④ disappear of left atrial overloading

(5)

Selection of points. 183 times

①	F ₄ 48, F ₄ 50 both pricking 15 m.
133 times	(+) 62 times	46%
②	F ₄ 48, F ₄ 50 EAP spallow pecking
5 times	(+) 3 times	60%
③	F ₄ 46, F ₄ 48, F ₄ 50 both pricking
6 times	(+) 6 times	100%
④	H ₂ 6 both, low frequency puls.
13 times	(+) 10 times	77%
	H ₂ 6 ↔ H ₃ 7 both puls	(+)	
	F ₆ 9 ↔ F ₈ 14 both puls	(-)	
	F ₆ 9 ↔ F ₆ 9 puls	(-)	
	H ₇ ↔ H ₇ puls	(-)	

(6)

[A] An effect on angina

- ① direct effect
13 cases (+) 9
(±) 2
(-) 2
- ② effect of after long treatment
(over 1 month)
13 cases (+) 11
(±) 2
(-) 0

[B] An effect on another symptoms perpiration, stuffyness, oppression in brest cavity

17 cases	(+)	8
	(±)	6
	(-)	3

(7)

(13)

H₂ 6 部門 LOW FREQUENCY THERAPY

(14)

(15)

(16)

(17)

(18)

(19-A)

(20)

(19-B)

(21)